

鹿屋 「郷土を元気にしたい」と青年団が復活



9月5日、川西町で「川西町青年団結団式」が行われました。これは、生まれ育った郷土を元気にしていこうと町内に住む21～34歳の男女12人が結成したもので、同町の青年団は約20年ぶりに復活。結団式では、町内会の役員など約40人が青年団の復活を祝福。吉留幸一郎会長は「若い力で地域を盛り上げていきたい」と決意を新たにしていました。

鹿屋 落花生で交通安全を呼びかける



9月22日、白水町の体育大学前交差点で、市交通安全協会花岡支部の女性部「すみれ会」による交通安全キャンペーンが行われました。これは、秋の全国交通安全運動の一環として行われたもの。当日は、チラシや交通安全を呼びかけるメッセージと一緒に地元産の落花生をドライバーに配り、交通安全を訴えていました。

串良 オレンジパーク串良が開園



9月26日、串良町有里のみかん園「鹿屋市オレンジパーク串良」が開園しました。同パークには、約2haの敷地に温州みかんやネーブルなど約1,300本が植えられています。開園式には、ふたば保育園の園児など約60人が出席。テーブルカットのあと、みかん狩りを楽しみました。同パークの開園期間は12月28日までですが、みかんがなくなり次第、閉園となります。

鹿屋 まちの駅一番館がオープン



9月18日、鹿屋本町一番商店街の一角に「かのやまちの駅一番館」がオープンしました。店内にはパン工房があり、焼きたてのパンが購入できるほか、生産者が直接出荷した有機・減農薬のこだわり野菜、生ホルモン、生キャラメル、鮮魚・海産物、豆腐、つくりたて惣菜、生花など「まちの駅」ならではの逸品が販売されています。

串良 水路内の生物が引っ越し



9月5日、串良町岡崎地区の水田で「生物引っ越し作戦」が行われました。これは、現在行われている県営ほ場整備事業の排水路内に生息している生物を一時避難させようといわれたもので、小学生や地元住民など約80名が参加。参加者は、網などでメダカやドジョウなどを捕獲し、名前や特徴などを学習したあと、引っ越し先の用水施設に放流しました。

鹿屋 幼稚園児が振り込め詐欺の防止を呼びかけ



9月7日、リナシティかのやで「振り込め詐欺抵抗力強化キャンペーン」が行われました。イベントには、市内の幼稚園児や関係機関など約150人が参加。園児たちは、詐欺犯を描いたボードに次々とボールを蹴り込んで命中させ、詐欺犯を撃退しました。また、キャンペーン用チラシを観客に配付し、振り込め詐欺防止の呼びかけを行いました。